



2022年8月10日

各位

会社名 アジャイルメディア・ネットワーク株式会社  
代表者名 代表取締役社長 荒木 哲也  
(コード番号 6573 グロース)  
問合せ先 管理部 部長 寺本 直樹  
(TEL 03-6435-7130 (代表))

## 特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

現在、2022年12月期第2四半期決算短信の公表に向けて準備を進めておりますが、決算資料作成の過程における監査法人による会計監査のなかで、監査法人と協議の結果、下記のとりの特別損失を計上することを認識するに至りましたため、お知らせいたします。

また、本件特別損失の計上ならびに2022年12月期第2四半期決算の実績見込み、これを踏まえた今後の事業計画の推移、2022年7月において開示しておりました特別利益の計上等を鑑み、2022年5月11日付「2021年12月期決算短信[日本基準](連結)」にて公表しておりました業績予想についても、下記のとおり修正をいたします。

### 1. 特別損失の計上

#### (1) 訂正関連損失引当金繰入額

2022年4月11日付「第三者委員会の調査報告書の公表について」開示のとおり、当社は2022年2月より不適切会計の疑義について第三者委員会を設置して調査を進め、過年度における決算の訂正を行いました。これに伴い、2021年12月期決算において、第三者委員会の調査費用や過年度決算の訂正監査・修正費用、金融商品取引法や有価証券上場規程に則った違約金等の損失などを訂正関連損失引当金として計上しておりました。

このうち、有価証券上場規程に則った違約金は、6月15日付「特設注意市場銘柄の指定に関するお知らせ」にて開示のとおり、上場契約違約金の納付額が確定したこと、また金融商品取引法に基づく課徴金額は、6月23日付「証券取引等監視委員会による課徴金納付命令の勧告についてのお知らせ」にて開示のとおり、勧告により納付見込額が明らかとなったこと、第三者委員会の調査費用として見込んでいた金額と実際に支払った調査費用との差額など、当初見込んでいた金額と実際の納付(見込)額との差異について、2022年12月期第2四半期の会計期間における訂正関連損失引当金繰入額として37百万円の特別損失を計上する見込みとなりました。

#### (2) 特別調査費用等

不正会計に関与した者への損害賠償請求に係る弁護士費用等について、2022年12月期第2四半期の会計期間における特別調査費用等として2百万円の特別損失を計上する見込みとなりました。

## 2. 業績予想の修正について

### (1) 2022年12月期第2四半期（累計） 連結業績数値の修正（2022年1月1日～2022年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 287	百万円 △51	百万円 △49	百万円 △49	円 銭 △16.59
今回修正予想（B）	246	△80	△75	△117	△58.95
増減額（B-A）	△31	△29	△26	△68	
増減率（%）	△14.3	—	—	—	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2021年12月期第2四半期）	304	△73	△64	△181	△73.12

### (2) 2022年12月期通期 連結業績数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 680	百万円 △37	百万円 △33	百万円 △42	円 銭 △14.07
今回修正予想（B）	578	△115	△111	△105	△35.22
増減額（B-A）	△102	△78	△78	△63	
増減率（%）	△15.0	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （2021年12月期）	632	△106	△96	△740	△297.74

#### （2）業績予想修正の理由

##### [第2四半期の減少要因]

2022年12月期第2四半期の連結業績予想の減少要因としては、当社で発覚した資金流用や不適切な会計処理に対する第三者委員会の調査により、当社のコーポレートガバナンス体制の不備が指摘されたことや、資金流用を行った当社元役員の逮捕報道があったことなどから一部既存顧客の契約解除があったこと、また、債務超過といった当社財務状態などにより、期初に見込んでいた新規顧客獲得が実現できなかったことによります。

※「1. 特別損失の計上」で記載のとおり、2022年12月期第2四半期会計期間において訂正関連損

失引当金繰入額として 37 百万円の特別損失を計上する見込みとなっており、当該金額についても業績予想の修正に含めております。

※2022 年 6 月 30 日時点におけるアンバサダープログラム導入数は 55 件（エンタープライズ 27 件、セレクト&セルフ 28 件）となっております。

#### [通期の減少要因]

通期の連結業績予想の減少要因としては、2022 年 12 月期第 2 四半期における連結業績の減少に加えて、債務超過といった当社財務状態などによる新規顧客獲得の困難が継続することが見込まれていることによります。

また、2022 年 12 月期第 3 四半期会計期間においてはサイブリッジ合同会社からの短期売買に係る利益の返還に伴う短期売買利益受贈益 23 百万円（詳細は、7 月 4 日付「(開示事項の経過)短期売買に係る利益の返還に伴う特別利益の発生に関するお知らせ」にて公表)、流用資金の一部返還に伴い受取賠償金 26 百万円（詳細は、「流用資金の一部返還に伴う特別利益の発生に関するお知らせ」にて公表）を、特別利益として計上することが見込まれているため、通期の連結業績予想に含めています。

※通期の連結業績予想は、新型コロナウイルス感染拡大の影響は継続するものと仮定して作成しております。

※2022 年 5 月 31 日付「事業計画及び成長可能性に関する事項」にて公表しておりました 2022 年 12 月末時点におけるアンバサダープログラム導入数は 85 件（エンタープライズ 35 件・セレクト&セルフ 50 件）は、上記の減少要因により 74 件（エンタープライズ 24 件、セレクト&セルフ 50 件）となることを見込まれます。

以上